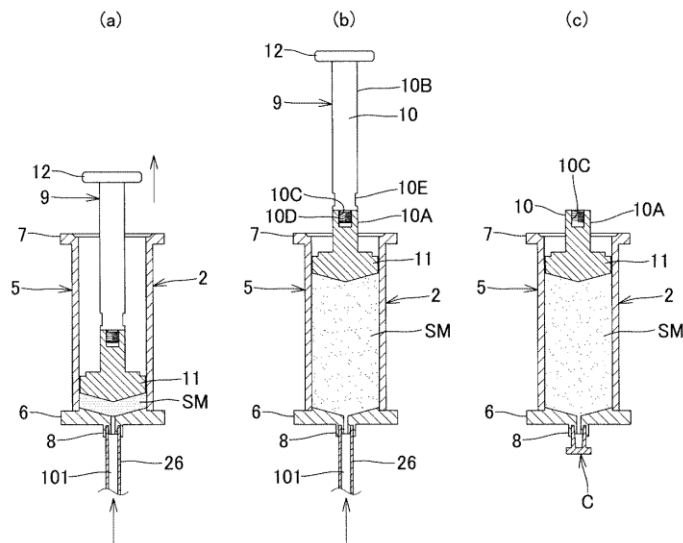


発明の名称	大量細胞培養システム及びそれに用いる回転細胞培養装置		
出願人/権利人	株式会社ジェイテックコーポレーション	発明者	津村 尚史、植村 寿公、内田 雄大
出願日	平成29年1月19日	出願番号	2017-007993
公開番号	2017-200468	特許番号	-
法的状態	登録査定中		

代表図



2 培養ベッセル、5 外筒部、6 フロントフランジ、7 バックフランジ、8 ヘッド、9 プランジャ、10 軸部、10A 軸部、10B 軸部、10C メスネジ、10D オスネジ、10E ノッチ、11 ガスケット、12 プランジャボタン、26 培養液供給管、101 プーリ、SM 細胞液、C キャップ

発明の概要

多能性幹細胞、特にiPS細胞や接着性細胞を効率よく低コストで大量培養する装置

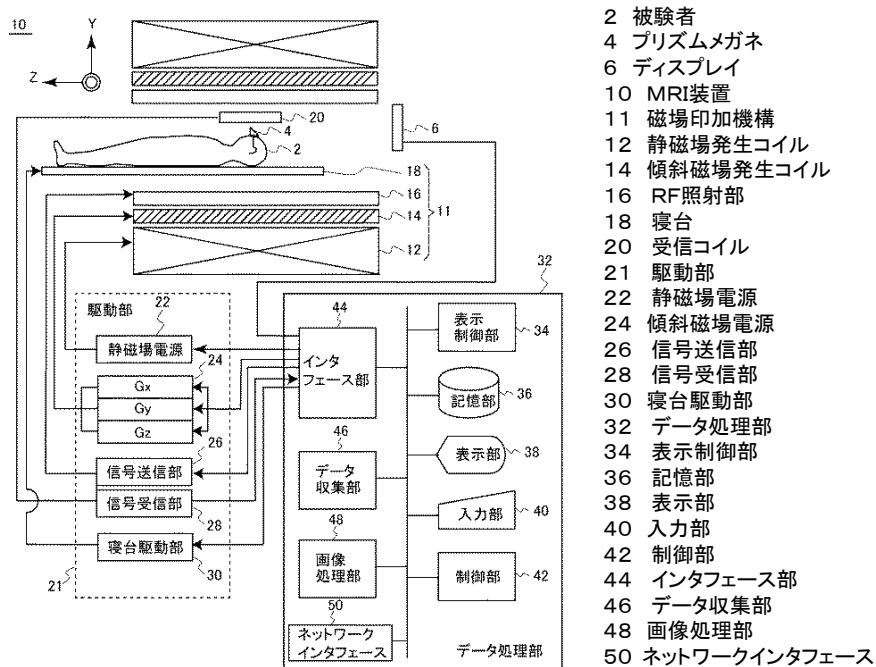
特徴

本発明は、再生医療等において使用する多能性幹細胞や接着性細胞を大量に培養するのに適した大量細胞培養システムと、それに用いるベッセル間細胞液移送装置並びに回転細胞培養装置。

作業者スキルによらずに再生医療等において使用する多能性幹細胞や接着性細胞を大量かつ効率的に培養することができる。また、フィルター内蔵の接続具を介するだけで、スフェロイドを何ら薬液を使用することなく、機械的に小スフェロイドに微細化することができ、特にiPS細胞を未分化性を維持したまま大量培養することができる。

発明の名称	脳活動解析装置、脳活動解析方法、プログラムおよびバイオマーカー装置		
出願人/権利人	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	発明者	リシ ジュゼッペ、森本 淳、川人 光男、八幡 憲明
出願日	平成28年11月22日	出願番号	2017-522218
公開番号	-	特許番号	6195329
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

脳機能画像法を用いた脳活動解析装置、脳活動解析方法およびバイオマーカー装置

特徴

脳活動の計測データに基づいて、機械学習により判別器を生成し、これをバイオマーカーとして実用化させるためには、一つの施設において計測された脳活動に対して機械学習により生成されたバイオマーカーの予測精度の向上が必要であった。また、このように生成されたバイオマーカーが、他の施設において計測された脳活動に対しても汎化可能であることが必要であった。

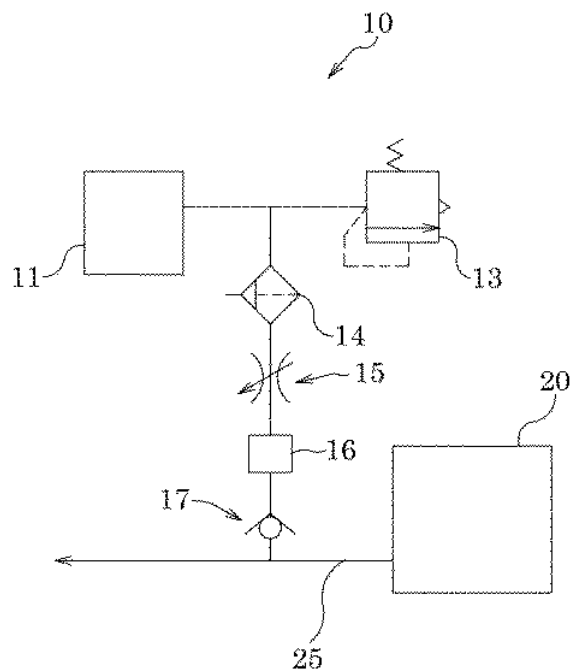
本発明は、新規の算出方法を用いることにより上記課題を解決し得る、脳機能画像法を用いた脳活動解析装置、脳活動解析方法およびバイオマーカー装置である。

関連分野

電算機類、放送・通信、専門技術サービス

発明の名称	ジーゼルエンジンに使用される液体燃料軽減装置		
出願人/権利人	大河 義夫、大河 孝夫、大河 辰夫、大河 誉夫	発明者	大河 義夫、大河 辰夫、大河 孝夫、大河 誉夫
出願日	平成28年5月9日	出願番号	2016-094191
公開番号	2017-203388	特許番号	6254639
法的状態	登録中		

代表図



- 10 液体燃料低減装置
- 11 酸水素発生装置
- 13 リリーフ弁
- 14 フィルタ
- 15 可変絞り弁
- 16 逆火防止弁
- 17 逆止め弁
- 20 燃料タンク
- 25 燃料配管

発明の概要

ジーゼルエンジンの燃料として使用される液体燃料に酸水素ガス(HHOガス)を混流させる液体燃料削減装置

特徴

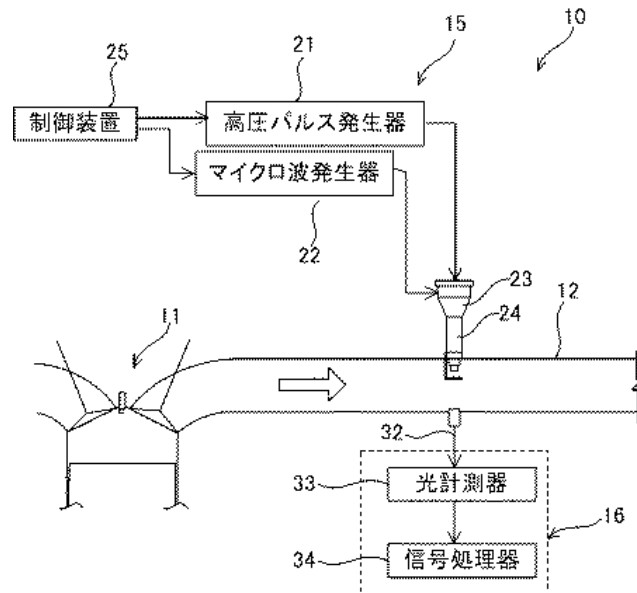
本発明の装置は、液体燃料に酸水素ガスを混流させてその液体燃料の消費を抑える液体燃料低減装置であって、酸水素ガスを発生する酸水素発生装置と、発生した酸水素ガスの圧力を調整する圧力調整弁及び流量を調整する流量調整弁と、逆流防止弁とを有している。

低圧の酸水素ガスをジーゼルエンジンの液体燃料に混流させることができ、簡単な構造で経済性に優れた液体燃料軽減装置である。また、軽油・重油を使用するジーゼルエンジンにも使用することができる。

専門サービス 汎用性の高いガス濃度推定装置

発明の名称	ガス濃度推定装置		
出願人/権利人	イマジニアリング株式会社	発明者	池田 裕二
出願日	平成24年12月26日	出願番号	2013-551726
公開番号	WO2013/099923	特許番号	6233639
法的状態	登録中		

代表図



10 ガス濃度推定装置 11 エンジン 12 排気管 15 プラズマ生成装置(プラズマ生成手段)
 16 分析装置(分析手段) 21 高圧パルス発生器 22 マイクロ波発生器 23 混合器
 24 放電器 25 制御装置 32 光ファイバー 33 光計測器 34 信号処理器

発明の概要

分析ガスのプラズマから発せられる光を分析することにより対象成分の濃度を推定するガス濃度推定装置とガス濃度推定方法

特徴

従来のガス濃度推定装置では、対象成分である二酸化炭素の発光に対応する波長成分の発光強度を得るのに特殊な受光器が必要となり、汎用性に欠けるという問題があった。

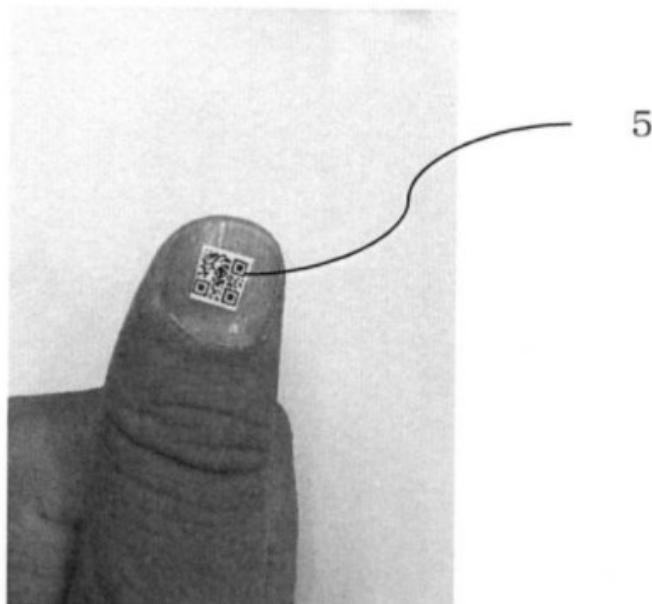
本発明では、対象成分の発光に対応する波長成分ではなく、対象成分とは異なる原子構成で、対象成分から分離した原子又は分子を含む所定のラジカルの発光に対応する波長成分の発光強度に基づいて対象成分の濃度を推定している。汎用性のある受光器を用いることのできるガス濃度推定装置である。

関連分野

業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、エネルギー、建設・土木

発明の名称	二次元コード付きネイルシール		
出願人/権利人	小野 宏積	発明者	小野 宏積
出願日	平成27年1月20日	出願番号	2015-008598
公開番号	-	特許番号	6232548
法的状態	登録中		

代表図



5 ネイル貼付用識別シール

発明の概要

徘徊患者の連絡先情報を含む二次元コードが記載されたネイルシール

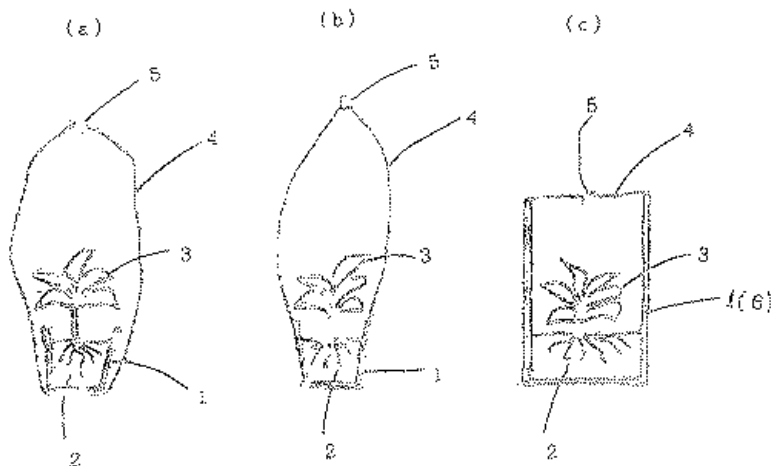
特徴

本発明は、他所で保護された徘徊患者の連絡先を即座に確認でき、本人の安全確保と介護者の安心を提供するネイルシールと、それを用いた身元不明者の早期保護システム。

本発明の身元不明者の早期保護システムは、身元が不明になる可能性のある人の爪に貼付するネイル貼付用識別(ジェル)シールと、その人が行方不明になった場合に保護先でネイル貼付用識別(ジェル)シールにコード化された登録連絡先情報を読み取る装置と、読み取った情報に従って登録連絡先に連絡する通信手段によって構成されている。

発明の名称	植物生命維持方法		
出願人/権利人	株式会社アイ・イー・ジェー	発明者	藤浦 洋二、栗山 智
出願日	平成28年4月27日	出願番号	2016-088974
公開番号	2017-195812	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



1 植栽容器 2 含水ゲル 3 植物
4 プラスチックフィルム 5 チャック 6 透明ガラス

発明の概要

簡単な方法で1ヶ月以上、長期間給水しなくても植物を枯れさせない植物生命維持方法。

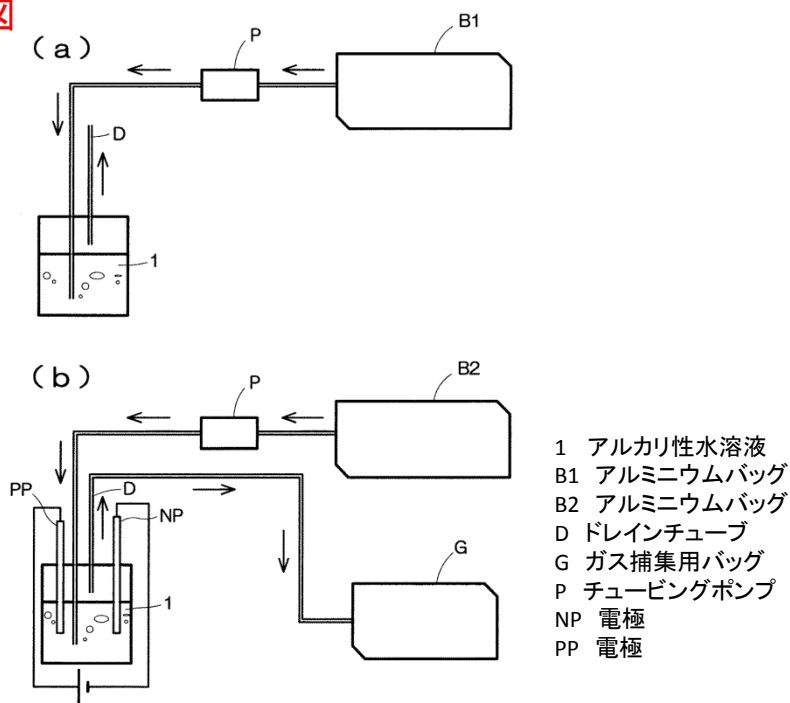
特徴

本発明は、植物生命維持方法に用いられる植栽容器であって、植栽容器の全体がプラスチックフィルムで覆われて密閉されていることを特徴としている。植栽容器中に吸水性樹脂の含水ゲルを調製し、含水ゲルに植物を植えることで驚異的に給水不要期間が延びる。

吸水性樹脂が、吸水性樹脂1重量部を25℃のイオン交換水100重量部に吸水させた時の含水ゲルの電気伝導率は0～3.0mS/cmであり、25℃のイオン交換水の吸水倍率が80～1000倍であるので、長期間給水なしでも生命維持可能である。

発明の名称	二酸化炭素処理方法		
出願人/権利人	廣田 武次、廣田 亜夕美、廣田 政士、廣田 武士	発明者	廣田 武次、石原 慶一
出願日	平成28年5月19日	出願番号	2016-100766
公開番号	2017-205718	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

二酸化炭素を別の物質に変性させる二酸化炭素処理方法

特徴

従来は、二酸化炭素を炭酸カルシウムの形態で水溶液中に固定化していたが、得られた処理物は、炭酸カルシウムを抽出してセメントとして再利用するくらいしか利用価値がなかった。

本発明は、二酸化炭素を別の物質に変性させる二酸化炭素処理方法であって、アルカリ性水溶液中に二酸化炭素を溶存させる二酸化炭素吸収工程と、二酸化炭素吸収工程の実行中又は実行後にアルカリ性水溶液を電気分解する電気分解工程とを実行するものである。メタン、エチレン、酸化エチレンなどの物質が生成し回収される。